

教 科	受験番号
美 術	

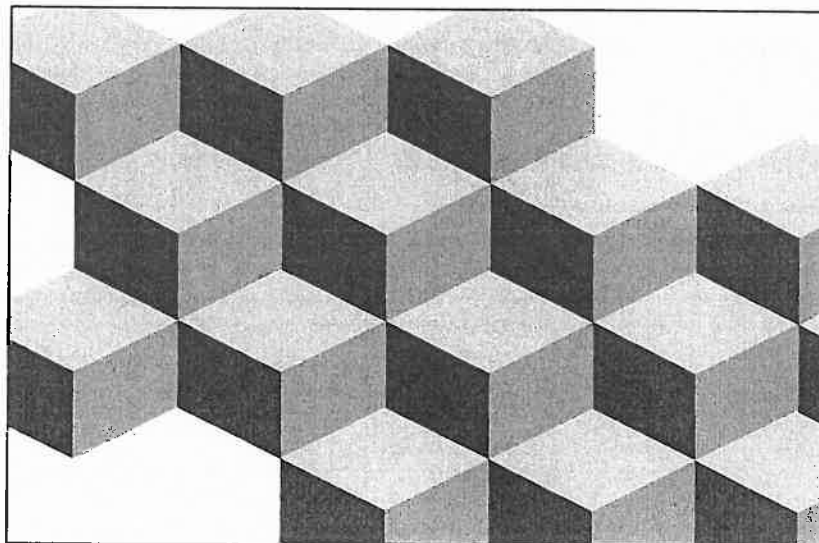
1 / 美術工芸の技法や材料等に関する次の設問（1）～（4）に答えよ。

（1）下記の表には、表現技法とその説明について記載されている。その説明について誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

	表現技法	説明
①	アサンブラージュ	物の表面に紙を当て、上から紙をこすり、模様を浮き出させる技法。
②	オートマティスム	作家意識下の精神状態を作品に表すことを意味し、ドリッピング技法もこれに由来する。
③	パピエ・コレ	フランス語で、糊で貼りつけられた紙のこと。紙、新聞紙などを切断し糊で貼り付ける技法。
④	デペイズマン	全く関連性のないモチーフ、あるいは非現実的な大きさなど意外な組み合わせで作品を構成する技法。
⑤	モンタージュ	異なる複数のイメージから1つの画面を合成する技法。

（2）下記の図は、造形の秩序を生む法則を使って表現されている。その表現として適切な用語を次の①～⑤から一つ選べ。

- ①シンメトリー ②リピティション ③グラデーション
 ④コントラスト ⑤プロポーション



(3) 下記の表には色名とその説明が書かれている。その説明で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

	色名	説明
①	ウルトラマリンブルー	ラピスラズリの鉱物顔料。大変高価で聖母マリアの着衣の彩色に使用された。
②	バーミリオン	水銀と硫黄が反応した硫化水銀の人工色。
③	カーマイン	メキシコのカイガラムシ（コチニール）を原料とする真紅。
④	ビリジャン	軍服、戦闘服に使われる色でちりやほこりの意味。
⑤	アイボリーブラック	象牙を焼いた色。

(4) 版画の種類についての説明として誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①凸版は、凸部に絵の具を付けて刷り取る方法。木版画が代表的で、日本ではサクラやホオ、西洋ではクルミやモモの木などが多く使われてきた。
- ②凹版は、絵柄の部分を彫り込んでその凹部に絵の具をつめてプレス機で圧力をかけて刷る方法。銅版画が代表的で、その中にはエッチングやステンシルと呼ばれる方法がある。
- ③平版は、水と油の反発作用を利用して印刷する方法。代表的なリトグラフは版の材料に石版を使用している。
- ④孔版は、版の孔（突き抜けた穴の意味）の部分から絵の具を通過させて刷る方法。この方法は他の版種と異なり、版の図柄と印刷された図柄が左右逆にならない。
- ⑤モノタイプは、彫りなどの製版作業が不要であり、等質の刷りを繰り返すことができない。

2 色彩と文字デザインに関することについて次の設問(5)～(9)に答えよ。

(5) 色や光についてまとめた年表の空欄(ア)～(オ)に当てはまる人名の正しい組み合わせを次の①～⑤から一つ選べ。

BC800～300年	古代ギリシャの(ア)、アリストテレスらによる色彩論のはじまり
1666年	(イ)がプリズムでスペクトル発見
1802年	(ウ)が光の三原色論を発表
1852年	(エ)の「色の合成理論」
1905年	(オ)が色彩体系を発表

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	プラトン	ニュートン	ゲーテ	ヘルムホルツ	イッテン
②	プラトン	マックスウエル	ゲーテ	オストワルト	イッテン
③	プラトン	ニュートン	ヤング	ヘルムホルツ	マンセル
④	ソクラテス	マックスウエル	ゲーテ	オストワルト	イッテン
⑤	ソクラテス	マックスウエル	ヤング	オストワルト	マンセル

(6) 色の記録、伝達の方法について述べた文章として誤っているものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① PCCSシステム（日本色研配色体系）の色相は、心理4原色である赤、黄、緑、紫を基に24色相に分割されている。
- ② PCCSシステムのトーンは、明度と彩度の複合概念といえるもので、色相の同じ系列でも、明・暗、強・弱、濃・淡、浅・深の調子の違いがある。色相ごとに12種のトーンに分けられる。
- ③ マンセルシステムは、アメリカの画家マンセルが色を系統的に整理するために創案したもの。日本でも測色管理に結び付く色体系として工業規格に取り上げられ、JIS Z 8721（三属性による色の表示方法）となっている。
- ④ マンセルシステムによる色相は、R（赤）・Y（黄）・G（緑）・B（青）・P（紫）の5主要色とそれらを補完するYR・GY・BG・PB・RPの合計10色相を環状にならべ、さらにそれぞれを1から10の数字を付けて表現する。
- ⑤ マンセルシステムの彩度は、色相・明度が一定の配列において無彩色（白、黒、灰色のように色みの無い色）を0とし、色みのさえたの度合いの増加にしたがって等歩度に1、2、3、4…のように数字が増えるように表す。

(7) 次のマンセルシステムによる表示で、最も明度の高いものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 9R 4.5 / 9 ② 10Y 9.2 / 12 ③ 2.5GY 4.0 / 3
- ④ 5RP 3.3 / 15 ⑤ 7.5PB 2.8 / 19

(8) 色彩の心理に関する下記の文章で誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ①暖色系で高彩度の色は興奮感を与える効果があり、寒色系で低彩度の色は沈静的な印象を与える効果がある。
- ②同じ重さの物でもその表面の色の明度が高いと軽く、明度が低いと重く感じる。
- ③注意を向けて探す対象の「発見しやすさ」を視認性という。高彩度色を数色、黒地背景と白地背景で比較した場合、黄色は黒地背景においても白地背景においてもどちらも視認性は最も高い。
- ④色が異なると、観察者の方へ近づいたり後退したりして見える。色によって見かけの距離の感覚が変化して見えることを、「進出色」や「後退色」という。暖色系が「進出色」、寒色系は「後退色」である。
- ⑤図柄の形や大きさが同じでも、色によって大きく見えたり、小さく見えたりする。このような現象からそれぞれを「膨張色」や「収縮色」という。明度が高い色は大きく、明度が低い色は小さく見える。

(9) レタリングについて説明した下記の文章で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①タイポグラフィとは、「文字を読みやすく、美しく並べること」と、「文字をデザインとして扱うこと」ということである。
- ②ゴシック体は縦横の太さが均等なのが特徴である。
- ③明朝体は中国の明の時代に様式化された書体。横画が細く、縦画が太いことが特徴である。
- ④イタリックとは、主にローマン体の欧文書体の文字を斜体にしたことをいう。
- ⑤ウロコがあるのはサンセリフ体である。

3

映像・メディア表現に関する次の設問（10）と（11）に答えよ。

（10）映像・メディア表現に関しての説明と用語の正しい組み合わせを次の①～⑤から一つ選べ。

	A	B	C	D	E
説明	絵を鏡に映して回転させながらスリットからのぞき、動きを楽しむ。	一枚の紙の表裏に描いた絵が回転することで一つになって見える。	回転する円筒の細いすき間から中をのぞくと、動く絵が見える。	実写で人物など被写体を少しずつ動かしてコマ撮りする。	連続した絵を次々とめくっていくことで生じるアニメーション。

- ① A-ゾーマトロープ B-ゾートロープ C-ピクシレーション D-フリップブック
E-フェナキストスコープ
- ② A-フェナキストスコープ B-ゾーマトロープ C-ゾートロープ
D-ピクシレーション E-フリップブック
- ③ A-ゾートロープ B-ピクシレーション C-フリップブック
D-フェナキストスコープ E-ゾーマトロープ
- ④ A-ピクシレーション B-フリップブック C-フェナキストスコープ
D-ゾーマトロープ E-ゾートロープ
- ⑤ A-ピクシレーション B-フェナキストスコープ C-ゾーマトロープ
D-ゾートロープ E-フリップブック

（11）一眼レフカメラの使用や各用語について説明した文で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①絞りととはピントの合う奥行きや光の量を調節する機能。
- ②絞り値（F値）を小さくすると被写界深度は浅く、取り込まれる光の量は多くなる。
- ③シャッタースピードとは、シャッターを開け閉めする速度のこと。動いているものの一瞬を捉えたい場合はシャッタースピードを高速にする。
- ④露出アンダーの原因としては、絞りを開けすぎている、シャッタースピードが速すぎるなどである。
- ⑤標準レンズに比べると周囲が広く写り、奥行き感を強調できるのが広角レンズである。

高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）に関する次の設問（12）と（13）に答えよ。

（12）美術に関する知的財産権、肖像権などについて説明した文で、誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①授業において写真やビデオを用いて人物などを撮影して作品化する場合、相手の了解を得て行うなどの配慮が必要である。
- ②生徒の作品も有名な作家の作品も、創造された作品は同等に尊重されるものであることを理解させる必要がある。
- ③著作権があるものであっても、授業で利用する場合はすべて例外とされ、著作者の了解は必要がない。
- ④原則として、個人が著作者の場合はその没後、法人が著作者の場合は公表後、また著作者に関わらず映画の場合は公表後それぞれ70年経たものは著作権がなく自由に使用できる。
- ⑤絵画、漫画、イラストレーション、雑誌の写真、テレビ番組、映画、コンピュータソフトなどの作品には原則として著作権がある。

（13）高等学校学習指導要領解説（平成30年度告示）に記載されている「絵画」の内容について誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①日本画では、伝統的な岩絵具、箔、墨などの材料や筆、硯などの用具の特性や、独特な色彩効果と、余白の美や金地の背景などの空間表現などについて理解し、西欧絵画などに見られる空間概念との相違などとも考え合わせながら表現技法を工夫することが大切である。
- ②水彩画では、透明水彩絵の具及び不透明水彩絵の具のそれぞれの特性と制作手順の違いや表現効果について理解し、紙質や地肌、絵肌などを生かした表現技法を工夫することが大切である。また、デッサンやスケッチの線を生かした表現やドライポイントや塗り重ねなどによる表現など、意図に応じた表現を追求できるように独創的・創造的に表す技能の育成を目指して指導することが求められる。
- ③油彩画では、油彩画の幅広い表現技法、絵の具や多様な画溶液などの材料、筆やナイフなどの用具のもつ特性について理解し、自らの主題に応じた表現技法を追求することが大切である。また、油彩画の歴史における各時代の変遷や特徴的な表現にも目を向け、自らの表現を工夫できるように指導することが求められる。

- ④漫画、イラストレーションでは、時間や物語性などを中心にして主題を自由に表すことができる特性を理解するとともに、線の美しさや表情の多彩さ、動きや豊かな感情を表すことができる表現方法や技法を工夫できるようにすることが大切である。また、アニメーションについても、時代や社会背景による表現内容や方法の変化・発展などについて学習を深めることができるような指導が大切である。
- ⑤その他の絵画では、フレスコ画やテンペラ画など古くからある伝統的表現技法とともに、新しい表現材料を組み合わせた複合的表現、複数の表現形式による表現などが考えられ、それぞれの表現技法や表現形式の特性を理解し、個性を生かしながら表現を追求していくことができるよう指導することが求められる。

5 西洋美術史に関する次の設問（14）～（23）に答えよ。

（14）先史美術における記述で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①旧石器時代につくられたヴィーナス像の多くは、丸みを帯び、顕著な官能性から豊穡の象徴と考えられている。「オーセールの婦人」は頭部全体が髪で覆われ、顔の細部が欠けている。
- ②現在知られている最古の陶製の容器は紀元前1万1000年頃の東シベリアと日本のものである。多くの陶器は型押しか粘土紐の輪積みで作られた。日本の縄文時代中期の渦巻き模様の壺は、複雑な曲線で飾られているのが特徴である。
- ③アルタミラの洞窟壁画は1879年に発見され、きわめて保存状態が良好だったため、考古学者たちが真偽を疑ったほどであった。そこに描かれている「野牛」は足が縛り上げられており、黄褐色、赤、黒の3つの色だけで表現されている。
- ④オーストラリアの美術の起源は非常に古く、パナラミテ・ノースの岩面彫刻は4万年以上も前のものだと考えられている。ワーダマン族の先住地にある岩窟壁画「稲妻の兄弟」は、神として描かれており、顔の細部は不明確で、頭から光を放っている。
- ⑤先史アフリカ美術の遺跡は数世紀に渡り、人々の住処となっていた。アルジェリアのタッシリ・ナジェールにある岩絵は無数に上り、描かれた時期にも幅がある。晩期には馬、ラクダなど、より新しい時代の動物も多く描かれている。

(15) 下記の図版の作品についての記述で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ①この作品の作者はフィリッポ・リッピの元で修業をし、優美で装飾的な線描の作風を発展させた。
- ②この作品はフィレンツェのウフィツィ美術館に所蔵されている。
- ③この作品の登場人物にはヴィーナスの他、ゼフェロス、アウラ、ホーラなどのギリシャ神話を元に描かれている。
- ④この作品は木板の上にテンペラで描かれている。薄い絵具を線で重ねて丁寧に表現されている。
- ⑤この作品の作者は、晩年には宣教師サヴォナローラの影響で宗教画を描くことに専念し、生涯のほとんどをフィレンツェで過ごした。

(16) バロック期の作家について説明した文で、誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①レンブラントはオランダで最も偉大な画家とされ、大型の集団肖像画「夜警」を制作した。また、生涯でおおよそ70点の自画像を残した。
- ②カラヴァッジオは「聖マタイの召命」などの作品で、宗教画を現実感あふれる庶民の姿で現し、写実的で強烈な明暗対比で描いた。その作風は後世にも多く影響を与えた。
- ③ベルニーニはフランス王母の半生を寓意的・神話的存在を交えて表した「マリー・ド・メディシスの生涯」を描き、輝かしい色彩と柔らかい筆触を生かした巧みな質感表現が特徴である。

- ④フェルメールの作品は、静謐さ、美しい構図、光、現実を鋭くとらえた写実的な表現で名高い。「画家のアトリエ」という作品では、様々な寓意性と、カメラ・オブスクーラの使用を示唆する表現となっている。
- ⑤ベラスケスは24歳で宮廷画家に任命された。代表作の「ラス・メニーナス」では、鑑賞者がまるで画中の物語に関わっているかのような感覚をもたせる工夫がされている。

(17) 下の図版の作者を次の①～⑤から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ①マネ ②シスレー ③ドガ ④ボナール ⑤モネ

(18) 作家とその代表作品、その作品の解説などについてまとめた下記の表で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

	作家名	作品名	出身	分類	作品解説
①	ロートレック	ムーラン・ルージュにて、踊り	フランス	後期印象派	ムーラン・ルージュは1889年にオープンした。作者は足しげく通い、ここに集う人々、ショーダンサーたちを数多く描いた。
②	ロダン	カレーの市民	フランス	近代彫刻	町の有力者が自らの命と引き換えに市を救ったという実話を元に作られた。
③	ピカソ	ゲルニカ	スペイン	キュビズム	20世紀の絵画で最も有名な作品。爆撃された町ゲルニカの惨劇に深い怒りを覚えた作者は巨大な作品をわずか1カ月ほどで完成させた。
④	ダヴィッド	皇帝ナポレオン1世と皇妃ジョゼフィーヌの戴冠	フランス	新古典主義	非常に大きな作品で、制作するためのアトリエと画材を集めることだけに1年を費やした。
⑤	ミレー	晩鐘	フランス	バルビゾン派	既に刈り入れの済んだ畑で落ちている穂を拾う女性が描かれている。最下民の農民たちを題材にした美しく崇高な作品。

(19) 表現主義及びその前後の美術運動についての記述で誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

- ① エドヴァルト・ムンクは初期の「病める子」に現れた病と死の凝視というテーマを基調としている。ベルリンでストリンドベルイらの「パン」のグループに加わり、代表作「叫び」を描いた。
- ② ドレスデン工業大学の建築科学生エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー、シュミット＝ロットルフらによって画家団体「橋」(ブリュッケ)が創設された。
- ③ ピエト・モンドリアンらによって「青騎士」(ブラウエ・ライター)が結成され、同名の年刊誌を発刊した。

- ④「野獣派」(フォーヴィスム)の名称は、1905年のサロン・ドートンヌの一室を強い原色の色彩と奔放な筆触の作品で飾ったのを、批評家ルイ・ヴォークセルが「野獣の檻」と揶揄したのが始まりとされる。
- ⑤日本においては中村彝、萬鉄五郎、村山槐多、佐伯祐三などが「野獣派」(フォーヴィスム)の影響を表す作品を残している。

(20) 20世紀の美術運動についての記述で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①エコール・ド・パリは、「パリ派」と訳されるが、これは1913年頃から第一次世界大戦以後にかけてパリに集った様々な傾向の作家たちの総称である。代表的な作家にアメデオ・モディリアーニ、マルク・シャガールらがいる。
- ②既成の価値を否定する「ダダ」の運動がマルセル・デュシャンらによって始められた。
- ③第一次世界大戦後には、夢など意識下の非合理的な領域を解放することによって新しい価値を創造しようと「シュルレアリスム」(超現実主義)の動きが起こった。
- ④「形而上派」で知られるジョルジオ・デ・キリコにより、神秘的な雰囲気と不気味な不安感が造形化された。
- ⑤ジャクソン・ポロックは、「空間主義」を掲げてキャンバスを切り裂くという作品を発表した。

(21) 19世紀から20世紀の彫刻についての記述で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①ロダンは、ダンテの「神曲」をテーマに「地獄の門」を制作した。この一部として制作されていたのが「考える人」である。
- ②ロダンはミケランジェロの彫刻などを研究した後、主に大理石から作品を彫り出す手法により数々の量感豊かな人体を制作した。「考える人」もこの手法で制作された。
- ③日本では、高村光太郎や荻原守衛らがロダンの影響を受けている。
- ④20世紀には新たに「抽象彫刻」というジャンルが生まれた。これは「対象」からの解放であった。
- ⑤ジョージ・シーガルは衣服を着た人間をそのままギプス用の包帯と石膏で型を取って石膏像を作り、それを古い家具や実際の環境物と組み合わせた。

(22) 現代美術の表現等についての記述で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ① マイクロポップとは、制度的な倫理や主要なイデオロギーに頼らず、さまざまなところから集めた断片を統合して、独自の生き方の道筋や美学を作り出す表現である。
- ② スーパーフラットとは、やまと絵や水墨画などの伝統的な日本絵画と、現代の和製漫画やアニメーションがともに遠近法的な奥行きを欠いている事実に着目し、その平板な構図を日本美術の優位性と読み替え、海外のアートシーンに発信していく戦略をもつ。
- ③ グラフィティとは、建物の外壁、トンネル、列車の車両などにスプレーやマーカーを用いて描く落書きの総称で、1970年代にニューヨークで発祥し、世界中の都市圏に広く拡大した。
- ④ シミュレーションイズムとは、観客との関係性や、作品を生み出す社会的文脈を通じて成立する現代美術作品の総称で、ニコラ・ブリオーとハンス・ウルリヒ・オブリストによって提唱された。
- ⑤ ネオ・エクスプレッションイズムとは、コンセプチュアル・アートが流行した反動で感情を爆発させたような表現が待望される中で生まれてきた表現である。

(23) 次の建築物と建築様式・特徴の正しい組み合わせを下記の①～⑤から一つ選べ。

A	B	C	D	E
パルテノン神殿	コロセウム（ローマ）	アヤ・ソフィア大聖堂	ランス大聖堂	水晶宮

あ：ドリス式オーダー。

い：鉄とガラスを多用。

う：ビザンティン様式。4本の塔は16世紀イスラム時代に建設。

え：ドリス式・イオニア式・コリント式のオーダー。

お：盛期ゴシック建築。バラ窓。

- ① A-あ、B-え、C-う、D-お、E-い
- ② A-え、B-う、C-あ、D-お、E-い
- ③ A-え、B-あ、C-お、D-う、E-い
- ④ A-あ、B-え、C-う、D-い、E-お
- ⑤ A-あ、B-お、C-え、D-い、E-う

6 日本の美術史に関する次の設問（24）～（27）に答えよ。

（24）下記の表は平安時代から鎌倉時代の彫刻についてまとめたものである。名称とその作者（または様式）、制作方法・特徴の組み合わせとして誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

	名称	作者または様式	制作方法・特徴
①	新薬師寺本尊 薬師如来坐像	貞観彫刻	かみ 櫃材を使用し、一木造（手足は寄木）。彩色。
②	平等院鳳凰堂 阿弥陀如来坐像	定朝	蠟型鑄造。全体が連続した滑らかな曲線で構成。
③	平等院鳳凰堂 雲中供養菩薩像	定朝様式	わりはぎ 割矧造。雲に乗って楽器を奏でたり、踊るようなポーズをとる像がある。
④	東大寺南大門 金剛力士立像	運慶・快慶・湛慶・定覚	寄木造。力強い目鼻立ち、隆々とした筋肉、緊張感みなぎる手足の表現。
⑤	六波羅蜜寺 空也上人立像	康勝	木造彩色。口もとからのびた針金に六体の <small>けぶつ</small> 化仏を立て、「南無阿弥陀仏」の六字名号を象徴的にあらわす。

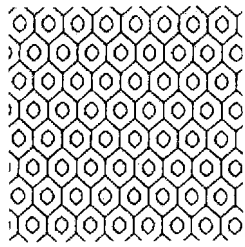
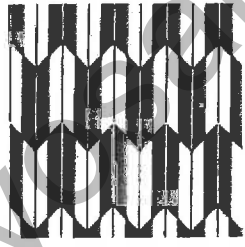
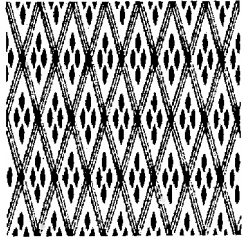

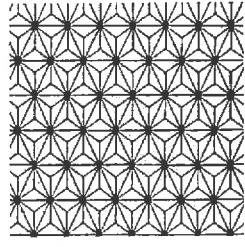
（25）焼き物の説明について誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①信楽焼は、長石釉を含み、赤く焦げる素地と軽やかな自然釉に特徴がある。備前とともに室町時代に日常の器が茶陶として取り上げられ、以後茶陶を多く作る。江戸時代以降は施釉陶も始まり、京焼の影響を強く受ける。
- ②越前焼は、常滑窯の技術が導入されて始まり、無釉焼締陶を作った。珠洲焼とともに日本海側を中心に壺・甕・播鉢が広く運ばれている。
- ③美濃焼は、室町時代に瀬戸窯の陶工が窯を開き、桃山時代には黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部と新しい茶陶を作り出した。
- ④常滑焼は、平安時代末に灰釉陶器から無釉の焼締に転じた。中世には壺、甕、鉢を量産し、備前焼とともに日本を代表する焼締窯となり、東日本一帯を販路とした。
- ⑤萩焼は、伊万里港から出荷されたことから伊万里焼ともいう。日本最大の磁器窯として君臨し、輸出用として生まれた柿右衛門様式は欧州各国にも大きな影響を与えた。

(26) 下記の表は浮世絵についてまとめたものである。作者とその作品例、特徴の組み合わせとして誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

	作者	作品例	特徴
①	鈴木春信	縁先物語	墨摺単色
②	喜多川歌麿	歌撰戀之部 深く忍恋	美人大首絵
③	東洲斎写楽	三代目沢村宗十郎の大岸蔵人	役者大首絵
④	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	動と静、近と遠の鮮明な対比
⑤	歌川広重	東海道五十三次之内 蒲原夜之雪	「天ぼかし」と「地ぼかし」の2種類が存在

(27) 下記の表の日本伝統文様で名称が誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

① 亀甲文様 	② 矢羽根文様 	③ 籠目文様 
④ 青海波文様 	⑤ 麻の葉文様 	

7 鑑賞教育に関して次の設問(28)～(30)に答えよ。

(28) 鑑賞の授業を実施するにあたって適切な説明を次の①～④から一つ選べ。

- ① 作品は映像で見せることを考慮し、明度差のあまりないものや極端に細密なものは避けた方がよい。
- ② 作品を映写する際はなるべく部屋を暗くする。意見交流においても、生徒が互いの表情を意識せず交流ができる。
- ③ 物語性を想起しやすい作品、人物などが描かれている作品は画一的な意見が多くなるため適していない。
- ④ 鑑賞の授業を行う際は、生徒と同じ意識で作品を見るほうがよい。そのため、作品に関する知識や作家の意図に関する準備は必要がない。

(29) 鑑賞の方法に関する文章で、(ア)に当てはまる語句を次の①～⑤から一つ選べ。

ニューヨーク近代美術館では1984年から96年までギャラリー・トークなどの教育プログラムを担当し、「視覚を用いて考えるためのカリキュラム」制作に参加したアメリア・アレナスが(ア)型鑑賞の第一人者とされる。この鑑賞法は、美術作品を専門家による研究対象としてのみとらえる事を否定し、作品の解釈や知識を鑑賞者に一方的に提供するような解説を行うことをしない。鑑賞者が作品を観た時の感想を重視し、想像力を喚起しながら他者とのコミュニケーションがなされることで、作品理解に繋がっていくことを目的としている。

①歴史考証 ②視覚 ③ブレイン・ストーミング ④対話 ⑤弁論

(30) 高等学校学習指導要領解説(平成30年告示)の美術Iの鑑賞に関する記述で誤っているものを次の①～⑤から一つ選べ。

- ①鑑賞の学習では、自分の価値意識をもって美術を捉え、生徒が自己を見つめ、主体的に鑑賞する態度を身に付けることが大切である。
- ②鑑賞授業では、学校や地域の実態に応じて美術館や博物館などと積極的に連携を図ることも大切である。鑑賞作品については実物と直接向き合い、作品のもつよさや美しさについて実感を伴いながら捉えさせることが理想であり、複製や印刷物を使用した鑑賞指導は避けることが大切である。
- ③文化遺産などを特定の時代や地域のみ限定された独立したものとして捉えるのではなく、過去から現在に続く大きな歴史の視点から捉え、伝統的価値観が、現代の生活にも息づいていることに気付かせることが重要である。
- ④自然と美術の関わりとは、作品の主題や表現の対象としてだけでなく、素材を生み出していることにも目を向けるとともに、我が国の気候や風土、環境、歴史等を背景にした特色ある感性をもって形成された日本人の自然に対する美意識を捉えさせることも大切である。
- ⑤光や時間、音、空間やイメージなど映像メディアがもたらす豊かな表現と、写実性、記録性、即時性、時間性、物語性などその独自の造形性や芸術性を幅広く捉え、作者の表現の意図と映像メディア表現の特質や表現効果を読み取ることが大切である。

kyosai-guild

令和4年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 高等学校 美術

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	①	②	④	②	③	①	②	③	⑤	②

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	④	③	②	①	③	③	①	⑤	③	⑤

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	②	④	①	②	⑤	①	③	①	④	②

kyosai-guild